

活動報告

| | |
|------------|--|
| 団体名 | NPO 法人 SEEDS Asia |
| 活動名 | 宇城市・被災者支援のための生活復興支援ボランティアセンターの運営支援 |
| 活動期間 | 2016年6月～2017年7月 |
| 活動の成果 | <p>熊本県宇城市で、住み慣れた家を離れ、仮設住宅やみなし仮設住宅で生活再建を余儀なくされた被災者は約 770 世帯にのぼります。SEEDS Asia はこれまで培ってきた復興支援のノウハウやネットワークを活かし、宇城市社会福祉協議会が6月から設置した「生活復興支援ボランティアセンター」、10月からは「地域支え合いセンター」に移管された、被災者支援の要となる両センターの運営支援を行いました。</p> <p>宇城市社会福祉協議会が上記センターの再編をするにあたり、その活動方針、運営方法、役割分担などについて協議を行ったり、業務手順を整えたりなど、体制づくりの支援を行いました。さらに新規に雇用された相談員を対象に、被災者支援に必要な相談対応力の向上を図ったり、広報記事や各種書類の作成、アンケート集計等の事務面に関するフォローをしたりなど、現場の状況に合わせた支援活動を行いました。また、東日本大震災の復興支援の実践者を派遣し、現場とともに活動を行いながら、経験に基づいた支援活動のノウハウを伝えるための橋渡しを行いました。</p> |
| 寄付者へのメッセージ | <p>SEEDS Asia は、世界における災害被災者の 90%が集中している日本を含むアジアにおいて、人々やコミュニティが自然災害や環境問題からうけるネガティブな影響から自分たちを守り、安全で持続可能な暮らしができることを目指し、神戸から活動を展開しています。</p> <p>「神戸から来た」と伝え、熊本の被災者の方々は心から喜んでくださいました。まずは、寄付をしていただいた皆様に感謝申し上げます。</p> <p>そして、被災された方々は、時間の経過とともに、生活再建に向かう中で悩みや不安が深刻化されている方も大勢おられることを、現地で実感してきました。熊本の復興には今後も息の長い支援が必要です。これからも、引き続きのご寄付を、どうぞよろしくお願い致します。</p> |

(活動のようす)

